

## ヤマセミ



澄川の森でヤマセミに出会いました。2007年5月6日9時頃。尾根線を走る自動車道路に最も近い水溜の縁の作業道をゆっくり歩いていたら水辺からケ、ケ、ケ、と声を出して大きくて白っぽい鳥が2羽飛び立ちました。鳴き声はキツツキに似ていましたが姿が違います。一羽が木に止まってくれたので望遠ズームを最大にして撮影しました。観察中にヤマセミであることはわかりました。

それにしてもカワセミの仲間で最大の図体を誇る溪流の鳥であるヤマセミに澄川の森で遇えるとは夢にも思っていなかったもので、びっくりするやら嬉しいやらでございました。この水溜りは夏は涸れています。この時期は雪解け水で満タン状態で、つい先日までエゾアカガエルの大合唱が聞かれていました。おそらくそれを狙いにきたのでしょう。魚がいるわけもないところですから、間違いのないと思います。

西側尾根を二つ越えると豊平川支流真駒内川の本流で、そこにはヤマセミがいることは写真集などでも紹介されていますので、遠征してきたのでありましょう



人里では滅多におめにかかれぬ鳥ですが、分布は結構広くて南は子守唄で有名な熊本県五木村、北では支笏湖で出会いました。そしてこれです。全国区なのです。大きな冠羽と白黒の縞々とでまず紛れなく識別できます。シルエットだけでも紛れぬでしょう。

これまでにこの森で出会った大型の鳥ではオオタカとクマゲラそれにエゾフクロウです。これらの鳥の縄張りは大きいので常住しているわけにはありませんが、出没しているわけですね。住宅地からほんの1kmほどの里山の自然の豊かさにいつもながら驚かされます。

自宅からこの澄川の森まで直線距離で10kmです。車で30分ぐらいですが、このところ天気の良い日には自転車を使います。45分～50分で到達します。車との差15～20分でしかありません。作業日でない単独行動の時は散歩がてらの気持ちで出かけることにしました。ガソリン高騰に対する抵抗もありますが、二酸化炭素を発生させないので環境に貢献できるし、その上健康にも良いと一石三鳥なのであります。往路は登りでかなりきついのですが、復路は下りばかりで楽なのです。最短距離で真駒内アイスアリーナ裏で豊平川に取り付き河川敷きの舗装自転車・歩行者専用道路を川下に向かうのですから、追い風ですとペダルをちょいちょいと使うだけで信号なしなのでノンストップで豊平川橋の我が家に到達いたします。雪解け水で水位が高い流れの音を聞き、河畔のヤナギの新緑に癒され、時折聞こえるイソシギの声やアオジのさえずりを楽しみながらの快適な走行なのであります。